

柿木自然エネルギー学校 (小水力) 実践編 の開講

活動地域  島根県吉賀町



電気配線作業についての講座の様子

課題

脱炭素社会構築と地域再生の両立を目指し、この地域にある自然エネルギーを活用した事業を増やすことと、そのための担い手育成が求められている。

目標

小水力発電事業を地域で増やすため、ノウハウを持った小水力発電開発の担い手を増やす。またその人たちが中心になり、地域の資源発掘や地域が主体となった事業化を図る。



今後の展望

完成した発電設備を使って、自然エネルギーや小水力発電について学ぶ環境教育プログラムの開発や、EV活用の検討、小水力発電事業の検討を進めていく。

はじめる助成

1年目

実践

活動内容と成果

島根県柿木村において小水力発電導入手法を学ぶ「自然エネルギー学校(実践編)」を開催した。座学・見学だけに留まらず、実際に現場で小水力発電導入(調査→設計→設備設置)を実践することで、より実際に即した実践経験を持つ小水力発電開発の担い手を育成する。今年度は、実際に小水力発電設備を設置し発電開始することを目標に、各回10人前後の参加者により、発電設備に水を流し込むための取水設備や水路の土木工事、水車・発電機の設置と電気工事など、手法を学びながら自分たちで作業をして発電設備を完成させた。



設置した小水力発電設備

自然エネルギー学校
受講者数 **12人**

設置した小水力発電
設備 **1基**

今年度計画の達成度 **95%**

目標達成度 **95%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

発電設備の設置場所は、そこで発電可能かどうかだけでなく、発電した電気をどう利用できるかもポイントとなり、選定に苦労した。

■ 工夫した点

砂防堰堤の利用には県の許可が必要であるが、このような用途での利用は県内で前例がなく、他県での事例を利用して説明した。